



# 冷凍空調会報

No.158  
2018.2

- 平成30年新年名刺交換会
- 冷凍空調高圧ガス保安大会
- 登録冷凍空調基幹技能者講習



—日本名水百選 丸池(湧水町)—

一般社団法人 鹿児島県冷凍空調工業保安協会

# 平成30年新年名刺交換会



恒例の新年名刺交換会が、去る1月10日（水）、鹿児島東急REIホテルで会員をはじめ行政、業界関係者等約110人の参加のもと盛大に開催されました。

はじめに鎌田会長が賀詞を述べた後、「業務用空調機分野の景況判断上のベンチマークであるパッケージエアコンの出荷台数については、猛暑による影響や、環境配慮・省エネ志向を前面に出す国の補助政策が後押しする材料となり、市中ストックの更新需要を活性化させたことにより、29年度上半期が前年同期を上回る43万台超で、下半期も例年水準通りの38万台の出荷台数を維持できれば年間80万台超の実績に到達する見込みとなっており、これからも堅調に推移することを期待する。

次に、代替フロンの国際的規制の動きであるが、一昨年10月にルワンダの首都キガリで開催されたモントリオール議定書第28回締約国会合（MOP28）において、強力な温室効果ガスであるハイドロフルオロカーボン（HFC）を対象物質に追加し、段階的に消費を削減する同議定書の改正が採択された。

この議定書は、20以上の国が締結することを条件に、2019年1月に発効することとなっており、発効すると、先進国は2036年までに段階的に85%削減することになる。このことは、将来的に地球温暖化への影響が小さい冷媒への置き換えが進むということであり、今後、国際的動きや国の動向等注視していく必要があると考えている。

このような状況等の中で、当協会では、今年も組織の充実強化をはじめ、冷凍空調設備の自主保安の

確保による事故の未然防止と適正な工事施工が図られるよう、高圧ガス保安法の周知・啓発、冷凍空調施設工事認定の推進、技能者育成などに取り組むこととしている。

また、フロン排出抑制法の施行により、冷凍空調機器工事の専門事業者また漏えい点検の技術的知見を有する私ども業界とユーザーとの関わりが深くなり、業界としての指導力や取組の真価が問われおり、皆様方にはよろしくお願ひしたい。

なお、当保安協会は、昨年設立40周年という記念すべき節目を年を迎えたことから、設立40周年記念事業を計画したところ、関係者の皆様の御理解・御協力により、記念式典・祝賀会の開催や40周年記念誌の発行等滞りなく実施することができた。改めて御礼申し上げる。この40周年を機会に、これまでの実績をさらに強固なものとして飛躍するため、役員並びに会員が一致団結して、保安団体として役割を再認識し、地域社会への貢献並びに業界の地位の向上を目指し、更なる努力を誓い合ったところであり、皆様方には、今後とも変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう、お願ひする。」と挨拶。

続いて、三反園県知事（空田消防保安課長代読）、森鹿児島市長（屋野築部長代読）、日設連白田専務理事から祝辞、また協会顧問の柴立県議会議長、上門市議会議長からそれぞれ挨拶をいただき、中丸設備対策監の乾杯の音頭で祝宴となり、新年の決意も新たに会員等による意見交換、懇談が和気あいあいの中で、おこなわれました。

最後に柴立顧問の一本締めで、今年一年のいやさかを願ひ、会を閉じました。





# 新年名刺交換会 祝 辞（要旨）

鹿児島県知事  
三反園 訓

明治維新から150年の節目の年である平成30年の新春を迎え、一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会の新年名刺交換会が、関係の皆様方多数御出席のもと、盛大に開催されるに当たり、謹んで新年のお喜びを申し上げます。

鎌田会長をはじめ皆様には、日頃から、本県の高圧ガス保安行政の推進に多大な御理解・御協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

貴協会におかれましては、冷凍空調設備の自主保安団体として事故の未然防止と適正な工事施工の徹底を図るため、高圧ガス保安法関連法規の周知・啓発、技能士や各種技術者の育成、各種認定・登録申請受理などに取り組み、高圧ガスの保安管理体制の維持・向上に大きな成果をあげておられることに対し、深く敬意を表します。

さて、平成28年の全国における高圧ガス保安法関係の事故は、863件発生し、そのうち冷凍製造事業所に関係する事故が224件発生しました。本県分につきましては、設備の劣化・腐食等による事故が2件発生しましたが、幸い人的被害を伴うような大きな事故はありませんでした。

県としましては、皆様の御協力をいただきながら、今後とも、国や業界等の動向に配慮しつつ、講習会や保安検査等を通じて、高圧ガスによる災害の未然防止と事業者の安全意識の高揚に努めて参りたいと考えております。

会員の皆様におかれましても、協会を中心に一致団結されて、高圧ガスの災害防止と自主保安の推進に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会の今後ますますの御発展と、皆様のご健勝・御活躍を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

鹿児島市長  
森 博 幸

平成30年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。

一般社団法人鹿児島県冷凍空調工業保安協会におかれましては、高圧ガス保安法に基づく自主保安体制の確立や技術者等の育成、良質な工事施工に努められるとともに、奉仕活動を通して地域社会の発展に貢献しておられますことに深く敬意を表します。また、鹿児島市政に対しまして、温かいご理解とご協力を賜っておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、わが国では、総人口の減少に伴う経済規模の縮小や、地方都市の衰退等が危惧されており、現在、人口減少問題の克服に向けて、実効ある施策を展開していくことが喫緊の課題となっております。

このような中、本市におきましては、昨年4月からスタートさせた、まちづくりの基本方針である、第五次総合計画・後期基本計画の確実な推進に取り組み、市民が生涯にわたり生き生きと暮らせる「豊かさ、実感都市・かごしま」の実現に向け、力強く前に進んでまいりたいと考えております。

建築設備分野におきましては、公共建築物の長寿命化等を計画的に進め、維持コストの縮減・平準化を図り、良質なストックの形成を促進するなど「既存ストックの再生・活用」への転換を基本に、快適空間の基盤づくりを進めます。

このような中、空調設備工事では、引き続き「魚類市場市場棟新築工事」や「食肉センター冷凍冷蔵設備工事」を、また「学校冷房設備」「教育総合センター」「伊敷公民館」などの改修工事を行っているほか、30年度の「学校冷房設備」の改修に向けた設計を進めているところでございます。

今後、省エネルギーや環境保全、防災への対策など、施設設備に対するニーズの多様化が進む中、皆様方の果たす役割はますます大きくなるものと存じます。皆様方には、これまで培ってこられた経験や優れた技術をもとに、社会資本整備の担い手として引き続き尽力されますよう期待しております。

結びに、鹿児島県冷凍空調工業保安協会の益々のご発展と、新しい年が皆様方にとりまして、輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

# 冷凍空調高圧ガス保安大会



鎌田会長挨拶

平成29年度の冷凍空調高圧ガス保安大会が去る10月21日（土）、鹿児島市のポリテクセンター鹿児島で、会員をはじめ行政関係者など約50名の参加のもと、開催されました。

冒頭、鎌田会長が「経済産業省が発表した平成28年における全国の高圧ガス保安法関係の事故件数は、495件となり、前年比で9.5%増加しているが、これらの事故に伴う人的被害（死傷者数）は51名と前年70名に比べ減少している。事故の内訳は、製造事業所における事故が397件、移動中の事故が20件、消費先における事故が67件、その他事故が11件となっており、特に製造事業所における事故が高い水準で発生している。また、製造事業所の事故の業種別内訳で見ると、冷凍事業所及び一般事業所が全体の84%を占めている。次に、事故原因を見ると事故総数495件中、設備の維持管理不良によるもの48%、設備の設計・製作不良14%と、62%が設備上（ハード）の要因によるものとなっている。

このような事故発生の状況を鑑みると、依然として高圧ガスの一層の保安の確保や事故の防止に、万全を期することが強く求められている。冷凍空調施設等の施工・管理に当たっては、日頃から安全対策に取り組んでいただいていると思うが、今後とも高圧ガスによる事故が発生しないよう、法令の遵守はもとより従業員に対する教育訓練の実施や定期自主点検の徹底など、より一層の

自主保安体制の充実に努めていただきたい。

なお、フロン排出抑制法が平成27年4月から施行されたが、フロンも高圧ガスとして製造、利用していることや稼働時漏えい等による地球温暖化への影響が大きいこともあり、法制度の趣旨を踏まえ、今後とも、冷凍空調業界一体となって適切な対応に努めなければならないと考えており、皆様方のご理解・ご協力をお願いしたい。」と挨拶。

続いて、特別功労者と優良従業者の表彰、高圧ガス保安活動促進週間について協会事務局の説明、県消防保安課宮下主査の高圧ガス関係の講話があり、また、黒沢労働安全衛生コンサルタント事務所の黒沢 郁夫氏から「安全管理の徹底と安全配慮義務」と題して講演が行われ、高圧ガス保安法上の安全確保や安全管理、労働災害防止などについての取組への理解を深めたところである。

## 表彰

（敬称略）

### ◆特別功労者 1名

森山 勇一（南菱冷熱工業(株)）

### ◆優良従業者 3名

上野 雅弘（株九州日立鹿児島支社）

堀ノ内 文敏（株フジヤマ）

米園 裕哉（南国殖産(株)）



# 登録冷凍空調基幹技能者講習 第50回鹿児島会場

1. 講習 平成29年11月10日・11日
2. 場所 ポリテクセンター鹿児島
3. 受講者 21人（うち県外1人を含む）
4. 概況

登録冷凍空調基幹技能者第50回講習が、鹿児島で開催されました。

この登録冷凍空調基幹技能者講習は、講習の実施機関として国土交通大臣の登録を受けた一般社団法人日本冷凍空調設備工業連合会（略称：日設連）が行う講習となっています。

登録基幹技能者は、「熟練の技を持った技能者で、それに加えて、施工、品質、原価、安全などの管理とマネジメントができる、技術的能力を保有し、現場の責任施行を担える優れた技能を持つ者」とされており、とりわけ、登録冷凍空調基幹技能者は、冷媒としてフロンなどの危険な高圧ガスを取り扱うため、関係法令の熟知・遵守が求められ、また、地球環境保護の観点からも、冷媒漏えい対策など、より高度な技術と知見を有する必要があります。

このように登録冷凍空調基幹技能者には、安全と環境に配慮したマネジメント力や冷媒配管施工、メンテナンスなどの指示・施工を行うことも求められます。

なお、現在33職種ある登録基幹技能者は、合計5万8千人を超えており、経審の技術点3点に加え、平成27年1月30日付の「品確法」による「発注関係事務運用に関する指針」の評価項目において、「登録基幹技能者」が明記され、注目度が上がってきています。国土交通省の公共工事における評価活用では、全ての機関で導入され、一部都道府県・政令指定都市やゼネコン等でも、評価活用もなされてきており、今後一層の活用が期待されています。

今回の講習では、登録基幹技能者の必要性等の認識から、受講者全員が資格取得を目指し、2日間の講習であったが熱心に受講していただき、最後に行われた認定試験に真剣に取り組み、受講者全員が見事に合格しました。

なお、この講習の受講要件は以下のとおりとなっております。

- ①冷凍空調工事の実務経験10年以上  
（技能士合格後という条件はありません）
- ②1級冷凍空気調和機器施工技能士
- ③安衛法60条による職長教育修了
- ④①のうち職長としての経験3年以上  
（職長教育終了後という条件はありません）





# 会 員 情 報

●代表者を変更しました。

事業所名	代表者名	住 所	T E L
(株)前川製作所 鹿児島営業所	(新) 安藤 正勝 (旧) 倉見谷 修一	〒890-0055 鹿児島市上荒田町22-3 育英ビル5階	099-256-8100
(株)鹿児島GHP	(新) 石澤 正行 (旧) 石澤 正一	〒891-0133 鹿児島市平川町982-1	099-261-4300
ダイキンHVAC ソリューション九州(株) 鹿児島支店	(新) 向野 法真 (旧) 山元 尚道	〒891-0115 鹿児島市東開町4-91	099-267-7670
十文字工業(株)	(新) 隈元 庸介 (旧) 隈元 光宏	〒890-0055 鹿児島市鴨池二丁目14-1	099-254-4667

●住所・電話を変更しました。

事業所名	代表者名	住 所	T E L
(有)太陽冷熱	中村 信吾	(新) 〒890-0072 鹿児島市新栄町32-4 (旧) 〒890-0085 鹿児島市南新町19-15	(新) 099-800-6526 (旧) 099-254-1759

●住所・電話を変更しました。（賛助会員）

事業所名	代表者名	住 所	T E L
ヤンマーエネルギー(株) 福岡支店南九州営業所	林田 巳年	(新) 〒891-0115 鹿児島市東開町4-31 (旧) 〒891-0132 鹿児島市七ツ島1-4-13	(新) 099-210-0666 (旧) 099-261-7955

※会員様には、代表者や住所等の変更があった際は、事務局にお知らせくださいますようお願いいたします。

## 日設連全国ブロック会議(九州沖縄ブロック)

日設連が2年に1回開催している全国ブロック会議（九州沖縄ブロック）が、平成29年11月22日、鹿児島の東急 REI ホテルで開催されました。

当日は、当保安協会のほか、西日本冷凍空調工業会、宮崎県冷凍空調工業会、沖縄県冷凍空調設備協会、日本冷凍空調設備工業連合会の各団体の役職員21名が出席し、日設連から「日設連の取組とフロンの動向について」「冷媒フロン類取扱技術者更新について」等の説明があった後、活発な意見交換が行われました。会議終了後は懇親会が行われ、有意義な情報交換の場となりました。



# 会社紹介



## 【会社概要】

代表取締役：岩元 和浩

事務所：〒890-0045 鹿児島市武三丁目38番47号

電話：099-259-2800

FAX：099-259-2801

設立：昭和60年4月

事業内容：空調設備販売施工・空調機器メンテ（EHP・GHP）・空調機器及配管洗浄・貯水槽清掃

資格登録：建設業許可 管工事業 鹿児島県知事許可（般-29）第10290号

第一種フロン類充填回収業者登録 46-1-839

貯水槽清掃登録 知事登録28貯第13号

地球温暖化の進行により、人にも地球にも優しい空調設備が必要な未来を、技術と信頼と笑顔をモットーに、これからもお客様のニーズに応えられるよう邁進してまいります。

# 会社紹介

## 新生冷熱工業 株式会社

## 【会社概要】

代表取締役：福山 康洋

事業所：〒892-0836 鹿児島市錦江町3番37号

電話：099-248-7177

FAX：099-248-7187

事業内容：空調・換気設備設計施工及び保守管理・修理、

給排水衛生設備設計施工

上・下水道工事、浄化槽設備工事



私たち「新生冷熱工業株式会社」は、主に空調・給排水設備設計施工及び保守・修理を行っております。創立30周年を迎え、今後も社員の技術向上を積極的に行い、お客様に快適なライフラインを提供できる企業作りに努めてまいります。

# 会社紹介

## 九錦設備工業 株式会社

### 【会社概要】

代表取締役：原田 清武  
事務所：〒891-0122 鹿児島市南栄二丁目7番15号  
電話：099-263-5133  
FAX：099-260-2063  
設立：昭和43年11月  
事業内容：空気調和設備 給排水衛生ガス設備 消防防災設備 上・下水道工事  
水処理施設工事 リフォーム工事 土木一式工事  
登録資格：鹿児島県知事許可（特-28）第1017号 管工事業  
鹿児島県知事許可（般-28）第1017号 土木、とび・土工、石、鋼構造物、  
ほ装、しゅんせつ、水道施設、消防施設  
冷凍空調施設工事業所 認定番号46-A-7  
指定給水装置工事業業者 認定番号 第52号  
指定排水設備工事業業者 認定番号 第52号

当社は昭和43年に管工事業として設立し、この間県下の設備企業としてこれまで順調な成長を遂げて参りました。今後とも時代の求める快適環境づくりに向けて、さらには一つ一つの仕事を通して地域社会に貢献できる、「信頼」ある設備企業を目指し、誠心誠意努力していきます。

# 会社紹介

## 株式会社 中釜電設

### 【会社概要】

代表取締役：中釜 秀一  
本社所在地：〒897-1124 鹿児島県南さつま市加世田宮原3538-1  
南九州営業所：〒897-0302 鹿児島県南九州市知覧町郡16561  
電話：0993-53-4102  
FAX：0993-53-4193  
事業内容：総合電気設備・設計施工・消防施設工事・消防点検・電気通信工事・設計施工・  
空調・換気設備工事・保守点検業務・管工事設計施工・水道施設工事・設計施工・  
機械器具設置工事業・浄化槽設備工事・各種処理施設保守業務  
登録資格：建設業許可・特定建設業 鹿児島県知事許可 特27第5397号

わたしたちは、社会貢献をモットーとし、高度な技術を駆使して、お客様に安全・安心・信用と信頼される企業を目指して、製品とサービスを提供いたします。  
また環境負荷の低減に努めてまいります。



# 冷媒フロン類取扱技術者の更新講習のお知らせ

平成27年4月に施行された「フロン排出抑制法」を受けて、業務用冷凍空調機器の冷媒の充填・回収及び点検について、「十分な知見を有する者」として、平成26年度から第一種、第二種冷媒フロン類取扱技術者の養成に努めてまいりました。

この冷媒フロン類取扱技術者の有効期限は5年間となっていることから、認定団体（第一種；（一社）日本冷凍空調設備工業連合会、第二種；（一財）日本冷媒・環境保全機構）において更新講習の検討を行っていましたが、その概要が判明しましたので、お知らせします。

## 更新講習の概要

1. 費用：15,000円（税別）（受講料+更新料）
2. 形態：一種、二種合同で講習
3. 時間：講習120分  
           考査 30分（10分考査、20分解説）
4. 考査：設問は10問程度。○×回答。回答後、講師による解説・講評
5. 受講期間：有効期限の1年前から有効期限後1年以内まで  
           （ただし、有効期限後の受講は受講料3,000円プラスとなる）
6. 手続き：WEBによる手続き（紙による手続きも受け付ける）
7. 実施時期：平成30年7月以降
8. 更新案内：認定団体から直接冷媒フロン類取扱技術者の自宅に郵送  
           （住所変更があった場合は、大切な案内が届かない恐れがありますので、認定団体に住所変更の手続きを速やかに行ってください。）

※当保安協会においても、更新講習を平成30年7月以降に実施する予定としております。

日程等詳細が決まり次第ホームページ等でお知らせします。

## 第一種冷媒フロン類取扱技術者講習会

- ◇ 講習日：平成29年10月26日（木）
- ◇ 場 所：ポリテクセンター鹿児島
- ◇ 受講者：20名

今回の講習会には、県外1名を含む20名の申込があり、受講者全員が講習及び修了考査試験に熱心に取り組んでいました。



# 地方会員懇談会

大島地区

1. 日 時 平成29年11月1日(水) 18:00～  
 2. 場 所 ホテルウエストコート奄美(奄美市)  
 3. 出席者 会員5名、協会役員3名  
 4. 懇談会内容

- (1) 会長挨拶  
 (2) 自己紹介  
 (3) 概況説明  
 平成29年度事業実施状況及び計画  
 高压ガス保安大会の説明  
 (4) 意見交換  
 ア フロン排出抑制法に基づく定期点検の実施状況について  
 イ 簡易点検の様式について  
 ウ 業務概況と人材確保について など



うちとけた雰囲気の中で、気の置けない意見交換ができ、お互いの理解が深まった有意義な懇談会となりました。

なお、懇談会に先立ち、地元会員にも同行を願い、奄美市に対して要望活動を行いました。内容は、冷凍空調工事専門事業所である会員事業所の指名、フロン充填・回収業の知事登録事業者等の活用について、関係課長に要望書を手交し、趣旨説明を行い、要望内容の実現について要請を行った後、フロン排出抑制法の施行による業務用空調機等の管理者である行政の管理責任等について意見交換を行いました。

## 冷凍空気調和機器施工技能士試験準備講習会

～資格取得を目指して～

- ◇講習日 平成29年12月 9日(土)  
 10日(日)  
 ◇場 所 ポリテクセンター鹿児島  
 ◇受講者 1級 1名、2級 3名  
 ◇講師 下別府先生(ポリテクセンター鹿児島)

今回の講習会には、7名の受講申込み中、体調不良等により4名の受講となりましたが、全員が資格取得に向け2日間熱心に受講されていました。

なお、本番の検定試験は、学科が1月28日(日)、実技が1月7日(日)に行われました。

## 表彰おめでとうございます

### 鹿児島市技能功労者等表彰

- (1) 日時 平成29年11月27日(月)  
 (2) 場所 城山観光ホテル  
 (3) 被表彰者 (敬称略)  
 技能功労者表彰  
 川畑 純久(株)ミタデン  
 藤原 孝久(南菱冷熱工業(株))  
 青年優秀技能者表彰  
 坂元 拓哉(テクノ冷熱(株))

### 九州中小企業団体中央会連合会表彰

- (1) 日時 平成29年9月7日(木)  
 優良組合青年部  
 鹿児島県冷凍空調工業保安協会青年部会



発行日 平成30年2月8日発行

発行所 〒890-0064

鹿児島市鴨池新町6番6号

一般社団法人 鹿児島県冷凍空調工業保安協会

TEL (099) 254-3948

FAX (099) 258-4839

E-mail krac@arion.ocn.ne.jp

ホームページアドレス

<http://kagoshima-reiku.com/>